

The 5th International Conference on Pre-modern Japanese Texts

第 5 回



古典籍共同研究事業センター

日本語の 歴史的典籍 国際研究集会

大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」

2019
令和元年

11月

15日
(金)

入場
無料

聴講
自由

LIVE
配信

場 所：国文学研究資料館大会議室（東京都立川市緑町10-3）
主 催：大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館



『浦しま』（国文学研究資料館蔵）DOI: <https://doi.org/10.20730/200017771>（当該画像: <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200017771/viewer/17>）

連続開催 令和元（2019）年11月16日（土）、17日（日）

第43回国際日本文学研究集会

特別講演 ゲイ ローリー 教授（早稲田大学法学学術院（法学部））



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館

National Institute of Japanese Literature

〒190-0014 東京都立川市緑町10-3

Web: <https://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/>

問い合わせ先：古典籍共同研究事業センター共同研究係

E-mail: cijinfo@nijl.ac.jp

11:00

開会の挨拶

ロバート キャンベル Robert CAMPBELL
(国文学研究資料館長)

11:05

機構挨拶

佐藤 信 SATO Makoto (人間文化研究機構理事)

11:10

趣旨説明

齋藤真麻理 SAITO Maori (国文学研究資料館教授)

11:15～11:55

研究報告「総合書物学は何を目指すのか」

“What are the Goals of ‘Comprehensive Bibliographical Studies’?”
谷川恵一 TANIKAWA Keiichi (国文学研究資料館教授)

11:55～13:10

ランチセミナー（研究者交流会）※会費制

参加費2,000円はランチセミナー会場にてお支払いください

13:10～14:00

基調講演「源氏流いけばな－源氏物語といけばなのコ
ラボレーション－」

“Genji-school *ikebana*: A Collaboration between Flower-arrangement
and the *Tale of Genji*”

岩坪 健 IWATSUBO Takeshi (同志社大学教授)

14:00～14:15 休憩（15分間）

会場案内



●多摩都市モノレール利用の場合

JR立川駅下車、多摩モノレール立川北駅に乗り換え、高松駅下車、徒歩10分

●立川バスの場合

JR立川駅北口2番のりば乗車の場合
「立川学術プラザ」バス停下車、徒歩1分または「裁判所前」バス停下車、徒歩5分

JR立川駅北口1番のりば乗車の場合
「立川市役所」バス停下車、徒歩3分

14:15～15:55

パネル発表

国際共同研究「中近世日本における知の交通の総合的研究」

“Interaction of Knowledge from the Medieval to the Early Modern Period”

概要説明：ダヴァン ディディエ DAVIN Didier

(国文学研究資料館准教授)

登壇者 1：芳澤勝弘 YOSHIZAWA Katsuhiko

(花園大学国際禅学研究所顧問)

「〈直指人心〉から〈曲指人心〉へ」

“From ‘Pointing Straight to the Human Mind’ to ‘Pointing Round to the Human Mind’”

登壇者 2：猪瀬千尋 INOSE Chihiko

(名古屋大学大学院人文学研究科附属人類文化遺産テク
スト学研究 (CHT) センター研究員)

「中世の仏教と音楽－書物という“知”を軸に」

“Medieval Buddhism and Music: With a Focus on Texts as a
Form of ‘Knowledge’”

登壇者 3：ダヴァン ディディエ DAVIN Didier

(国文学研究資料館准教授)

「近世初期の日本人が見た“公案”と“看話禅”－
仮名法語を中心に」

“*Kōan* and *kanna-zen* Practice as Seen in Japanese Society at
the Beginning of the Early Modern Period: Examining
Vernacular-language Sermons (*kana-hōgo*)”

コメンテーター：堀川貴司 HORIKAWA Takashi

(慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授)

15:55～16:10 休憩（15分間）

16:10～17:10

ラウンドテーブル－コンソーシアム構築に向けて－

“Towards the Construction of a Consortium”

テーマ：国際化する研究環境－人文学の場合－

“Internationalizing the Research Environment: The Case of
Humanities”

司 会：ロバート キャンベル Robert CAMPBELL

(国文学研究資料館長)

登壇者：荒木 浩 ARAKI Hiroshi (国際日本文化研究センター副所長)

クリスティーナ ラフィン Christina LAFFIN

(ブリティッシュ・コロンビア大学 アジア研究学科准教授)

ダニエル ストリューヴ Daniel STRUVE

(パリ大学教授)

張 龍妹 ZHANG Longmei

(北京外国語大学 北京日本学研究中心教授)

17:10

閉会の挨拶

谷川恵一 TANIKAWA Keiichi (国文学研究資料館副館長)

本チラシには「新日本古典籍総合データベース」所収の古典籍画像を使用しています (<http://kotenseki.nijl.ac.jp/>)。このデータベース所収の画像のうち国文研所蔵資料はCC BY-SA 4.0で公開していますので、どなたでもクレジット表示をするだけで、自由にご利用いただけます。クレジット表示は、利用条件 (<http://kotenseki.nijl.ac.jp/page/usage.html>) をご確認ください。

なお、同データベース所収の他機関所蔵資料については、それぞれの所蔵機関ごとに利用方法が異なりますので、所蔵機関の利用案内を必ずご確認ください。詳細は利用条件のページをご覧ください。



新日本古典籍総合データベース



利用条件

第43回

参加無料・当日受付

国際日本文学研究集会

令和
元年

11月16日(土)・17日(日)

発表の一部はライブ配信を行う予定です。



場 所：国文学研究資料館大会議室（東京都立川市緑町10-3）
主 催：大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館

『浦しま』（国文学研究資料館蔵）DOI: <https://doi.org/10.20730/200017771>（当該画像 <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200017771/viewer/17>）



連続開催 令和元（2019）年11月15日（金）
第5回日本語の歴史的典籍国際研究集会



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館
National Institute of Japanese Literature

〒190-0014 東京都立川市緑町10-3
Web: <https://www.nijl.ac.jp/>
問い合わせ先：国際日本文学研究集会事務局
E-mail: icjl@nijl.ac.jp

11月16日 土

受付開始

12:30～

SAITO Maori (サイトウ マオリ)
総司会 齋藤 真麻理 (国文学研究資料館教授)Robert CAMPBELL
開会挨拶 ロバート キャンベル (国文学研究資料館長) 13:00～13:10【第1セッション】 司会 KNOTT Jeffrey
ノット ジェフリー (国文学研究資料館助教)

研究発表

[1] 死を描く場面における「情動性」と「感情の共同体」:
夕顔と紫の上を中心に 13:10～13:40コモバ エカテリーナ
KOMOVA Ekaterina (早稲田大学文学学術院訪問学者/コロンビア大学博士課程)[2] 物語文学における「あざやか」な人物たち 13:40～14:10
—『源氏物語』を中心に—MA Ruhui (マ ジョケイ)
馬 如慧 (早稲田大学文学学術院リサーチフェロー/北京外国語大学日本学研究
センター博士後期課程)[3] 平安朝文人における過去と現在の意識 14:10～14:40
漢詩集序をテキスト遺産言説の一例としてジェルリーニ エドアルド
GERLINI Edoardo (早稲田大学文学学術院訪問学者/ヴェネツィア・カフォスカリ
大学研究員)

休憩 (15分) 14:40～14:55

【ショートセッション】 司会 DAVIN Didier
ダヴァン ディディエ (国文学研究資料館准教授)

① ベトナム語の漢文訓読研究をどのように進展させるのか 14:55～15:10

グエン・ティー・トゥー フェン
NGUYEN THI THU Huyen (富山大学大学院修士課程)② ジェンダーと歴史の語り方 15:10～15:25
—平安・中世における和文の問題点—マクネリー キンバリー
MC NELLY Kimberly (早稲田大学文学学術院リサーチフェロー/UCLA大学院博士
後期課程)

③ アメリカにおける川端康成『山の音』の翻訳と受容 15:25～15:40

HAYAKAWA Yumiko (ハヤカワ ユミコ)
早川友実子 (早稲田大学大学院博士後期課程)

④ 桐野夏生作品をめぐる国際的な視座とその可能性 15:40～15:55

KOMAI sachi (コマイ サチ)
駒居 幸 (筑波大学人文社会系特任研究員)

⑤ 漱石の『趣味の遺伝』の実験工房について 15:55～16:10

タッデイ マルコ
TADDEI Marco (ベルガモ大学外国語外国文化学部日本語科日本語日本文学研究者)

休憩 (15分) 16:10～16:25

【第2セッション】 司会 KONO Kimiko (コノ キミコ)
河野 貴美子 (早稲田大学文学学術院教授)

研究発表

[4] 室町時代の能の構造解析 16:25～16:55
—その積層性と多様性を中心にして—ビュエニユ マガリ
BUGNE Magali (早稲田大学所属日本学術振興会外国人特別研究員PD/日仏会館・
フランス国立日本研究所(UMIFRE19フランス外務省・国立科学研究センター) 連携研究員)

[5] 大蔵虎明『わらんべ草』の『伊曾保物語』受容 16:55～17:25

LEE taekjin (イ テクジン)
李 澤珍 (東京大学大学院博士課程)

事務連絡・会場移動 17:25

研究者交流会 17:45～

11月17日 日

受付開始

9:30～

UNNO Keisuke (ウンノ ケイスケ)
総司会 海野 圭介 (国文学研究資料館教授)BJOERK Tove Johanna
【第3セッション】 司会 ビュールク トーヴェ ヨハンナ
(埼玉大学人文社会科学研究所准教授)

研究発表

[6] 連歌百韻の注釈・翻訳への提言 10:00～10:30
—「切れ」と「付け」をどう表すか—IKUTA Yoshiho (イクタ ヨシホ)
生田 慶穂 (お茶の水女子大学リサーチフェロー)

[7] 『妓者呼子鳥』の後続作品受容 10:30～11:00

パッローネ クリスティアン
PALLONE Cristian (ベルガモ大学外国語外国文学外国文化学科博士研究員)

休憩 (10分) 11:00～11:10

[8] 近世日本の唐話学と訳学—「訳社」を中心に— 11:10～11:40

YUAN Ye (エン ヨウ)
袁 葉 (大阪大学特任研究員/コロンビア大学博士課程)[9] 近世地方寺院における住僧の修学と法流の展開 11:40～12:10
—覚城院蔵聖教を例にして—KASHIWABARA Yasuto (カシワバラ ヤスト)
柏原 康人 (大阪大谷大学 非常勤講師/園田学園女子大学社会連携推進センター
学術研究員)

休憩 (110分) 昼食 12:10～14:00

【ポスターセッション】 12:10～14:00

※11月16日(土) 13:00から11月17日(日) 15:00まで掲示しています。

・横溝正史『執念』の考察—影響受容関係から独自のテーマへ—

パク ヨンソン
PARK Yeongseon (二松学舎大学大学院博士後期課程)・浪人のテキスト：忠臣蔵、クロスメディア化と江戸時代のファン
サービス文化フォーリー アリシア
FOLEY Alicia (神戸女学院大学留学生・研究者/ウィスコンシン大学マディソン校
大学院博士課程)

・軍記物語における「人間」の語の用例について

YANG qin (ヨウ キン)
楊 琴 (奈良女子大学大学院博士後期課程)

・坂口安吾「Pierre Philosophale」考—神秘性と〈分身〉—

FUJITA Erika (フジタ エリカ)
藤田 絵理香 (埼玉大学大学院博士後期課程)

【特別講演】

総司会挨拶 14:00～14:05

『松蔭日記』とその読者

Gaye ROWLEY
ゲイ ローリー (早稲田大学法学学術院教授) 14:05～15:05

質疑応答 15:05～15:30

講評及び閉会挨拶 15:30～15:45
坂本 信道 (国文学研究資料館国際連携委員長/京都女子大学文学部教授)

SAKAMOTO Nobuyuki (サカモト ノブユキ)